

平成24年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	広域交通管制システムの更新整備 及び維持管理		担当部局	情報通信局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度	平成23年度～平成32年度		担当課室	通信施設課		通信施設課長 塚原 秀利		
会計区分	一般会計		施策名	複数施策(1～7)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	広域交通管制システムは平成12年度に整備を行ったが、経年により劣化したため更新を実施し、維持管理業務についても一括して複数年の契約を実施する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	広域交通管制システムは、平成7年に発生した阪神淡路大震災を教訓として、警察庁において人手を介さずに的確な交通情報を把握することを目的として平成12年に整備を行った。都道府県警察の交通管制システムから、渋滞情報、旅行時間情報、交通量、交通監視画像等のデータを警察庁へ集約し、災害発生時や大規模警備時に関連道路の交通量、規制等を把握し、関係都道府県警察へ交通規制等に関する指示・指導を行うため整備する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	902	120	22	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	902	120	22	
	執行額	-	-	408				
執行率(%)	-	-	45%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 仕様書の機能性能を満たす機器の納入 (成果実績) 整備数		成果実績	式	-	-	1	-
				達成度	%	-	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	同上		活動実績 (当初見込み)	式	-	-	1	-
						(-)	(1)	(-)
単位当たり コスト	407,746,500(円/整備経費1式)		算出根拠	整備経費総額(機器購入費)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	雑役務費	120	22	24年度に新システムの機器設置及び旧システムの機器撤去を行っており、25年度要求については、維持管理のみのため、減額となったもの。				
	計	120	22					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>通行止めや渋滞など関連道路網の広域的な交通情報を迅速・的確に把握して、災害発生時や大規模な警備実施時に、交通規制や回誘導を全国的な観点から適切に行われるようにするためのシステムである。</p> <p>システムの調達と不可分な関係にある保守業務について、一括して複数年の契約をする調達を実施した結果、適切な競争原理が働き、大幅な経費削減となった。</p>
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>公共サービス改革法に基づく民間競争入札を実施し、民間による創意・工夫の発揮や競争性を確保している。</p>
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>機器の納入に当たり、設計書の事前確認及び製造工場での検査を行い、仕様書の機能性能を満たしていることを確認した上で納入させた。</p>
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先・使途を把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本実施に当たっては、一般競争入札を行っており、競争性も十分確保されている。</p>		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p>		
現状通り	<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>		
	<p style="text-align: center;">上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
	現状通り	特になし	
<p style="text-align: center;">補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			
特になし			
<p style="text-align: center;">関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-6

警察庁
408百万円

〔 広域交通管制システムの更新整備に必要な資機材の
購入及び維持管理業務に要する予算を支出 〕



< 物品購入等 >
【一般競争入札(総合評価落札方式)】

A. 沖電気工業株式会社
(1者)
408百万円

〔 広域交通管制システムの更
新整備に必要な機器の購
入及び維持管理業務を実
施 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A. 沖電気工業株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	広域交通管制システムの更新整備及び維持管理業務	408			
計		408	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖電気工業株式会社	広域交通管制システムの更新整備及び維持管理業務	408	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

広域交通管制システムの更新整備及び維持管理

警察庁が行う広域交通管制とは

都道府県警察を超えた広域にわたる交通障害等に対応

広域にわたり影響を与える交通障害等の把握

大規模災害・事故

大規模警備実施に伴う
交通規制等

広域にわたる交通情報の収集
(例:交通渋滞、交通量)



陥没した関越自動車道(堀之内町)
(H16.10 新潟中越地震)

都道府県警察に対する指導調整

全国的な幹線道路における交通規制(例:通行禁止区間の設定等)に関する指導調整

緊急通行車両の経路や一般交通の迂回路の設定に関する指導調整

重要なツール

広域交通管制システムの整備

広域交通管制システム(警察庁)

阪神淡路大震災を教訓として、人手を介さず的確に交通情報を把握することを目的として整備

- ・渋滞、臨時交通規制等の地図表示
- ・交通監視画像表示
- ・各種交通情報(交通量等)の蓄積、統計



広域交通管制室



渋滞情報表示



交通監視画像表示

A都道府県警察
交通管制センター

B都道府県警察
交通管制センター

C都道府県警察
交通管制センター



パトカー等



交通監視カメラ



車両感知器



光ビーコン

整備後10年を経過し老朽・陳腐化した機器を
最新の情報通信技術を用いて更新・高度化